



落三小 だより

<http://www.shinjuku.ed.jp/es-ochiai3/>

平成30年11月30日

12月号（第374号）

新宿区立落合第三小学校



みんなちがってみんないい

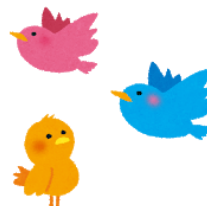


副校長 橋本 則子

はやいもので、店先にシクラメンやポインセチアが並ぶ季節になりました。校庭では、児童による落ち葉拾いの活動が行われています。

さて、12月10日は世界人権宣言が採択された「人権デー」です。毎年4日から10日の期間は「人権週間」として、全国で、人権を考える取り組みが行われます。私は、人権というと金子みすずさんの「みんなちがって みんないい」という詩を思い浮かべます。

わたしが両手をひろげても 空はちっともとべないが
とべる小鳥はわたしのよう 地面（じべた）をはやくは走れない
わたしがからだをゆすっても きれいな音はでないけど
あの鳴るすずはわたしのよう たくさんうたはしらないよ
すずと小鳥とそれからわたし みんなちがってみんないい

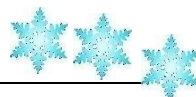


すべての人は生まれながらにして一人ひとりが「かけがえのない」「尊い」「大切な」ものです。そして一人として同じ人はいません。お互いの違いを認め合い、相手の気持ちについて考え、相手のよさを認め、一緒に生きていくことが大切です。一緒に過ごすには思いやりの心をもって接することも重要です。

学校では、たくさん子どもたちが生活を共にしています。様々な場面で思いやりの心を身に付けてほしいと思います。11月2日（金）3日（土）に開催した音楽会では、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。子どもたちが互いの声や音を聞き合い、互いを思いやって一つの曲をつくりあげた結果です。12月7日（金）は、特別活動の研究発表会です。それぞれの学級がよりよい個と集団になっていくことをねらいとして、話し合い活動を行います。自他ともに大切に話し合っている子どもたちの様子を多くの先生方に見ていただければと思います。

社会の最小単位は家庭です。ご家庭でも、普段から人を思いやることや、多様な人を受け入れることの大切さにふれてほしいと願っています。

平成30年度 12月 行事等の予定



1	土		18	火		◇
2	日		19	水	落ち葉拾い終	
3	月	安全指導日	20	木	税関教室6年	
4	火	クラブ活動 ◇	21	金	1・2年B5 3～6年B6 給食終 ◎	
5	水	B5	22	土		
6	木		23	日	天皇誕生日	
7	金	B5 研究発表会（特別活動） ◎	24	月	振替休日	
8	土		25	火	B4 終業式	
9	日		26	水	冬季休業日始	
10	月		27	木		
11	火		28	金		
12	水	落三ギネス	29	土	年末年始のため学校には入れません（～1月3日）	
13	木	避難訓練	30	日		
14	金	1～3年B5 4～6年B6 ◎ 保護者会（低学年14時から 高学年15時15分から）	31	月		
15	土					
16	日					
17	月					

1月7日（日）冬季休業日終、8日（月）成人の日、9日（火）始業式

SC 川内先生 勤務日（10：00～16：45）…◎

SC 河西先生 勤務日（9：00～17：00）…◇

人間生活に大切なもの ～「気持ちのよいあいさつ」と「礼儀正しさ」～

主幹教諭（生活指導主任） 佐藤 和貴

今年度の落三小の生活指導の年間目標は、「すすんであいさつのできる子」です。毎学期始めの2週間をあいさつ週間として、4～6年の子どもたちが、校門で、気持ちを込めてあいさつを呼び掛けています。

あいさつには、暗い気持ちを吹き飛ばす力があります。一度や二度ではなく、あいさつを続けていくことで気持ちが前向きで明るくなっていきます。また、あいさつには、笑顔をつくる力もあります。あいさつをすると自然と笑顔が増えていきます。普通に生活していると、自然と笑顔になる機会は少ないものです。あいさつは、自然と笑顔になる機会となり、気持ちも向上くとてもよい言葉なのです。

加えて、あいさつと同様に礼儀正しさも生活において大切なものの一つであると思います。相手に応じた言葉遣いで話ができることや、相手を認め、敬う気持ちをもって行動することができる子どもたちに育てていきたいと思います。落三小の子どもたちが社会に出て活動するときに、堂々と胸を張って活躍できるように私たち教職員一同、学校全体で指導していききたいと思います。

二学期は、「あいさつ」を重点とした生活目標を掲げて取り組んできました。その成果として登下校時のあいさつは、今まで以上に元気がよくなりました。また、校舎内ですれちがう児童からは「こんにちは」というあいさつが自然と生まれてくるようになりました。人をつなげる言葉が溢れる様子が広がっています。

「いつでも、どこでも、だれにでも、すすんであいさつのできる子ども」や「礼儀正しい子ども」を育てるには、学校、家庭、地域が力を合わせていくことが大切です。子どもたちの周りにいる大人がまず、手本を示していきたいものです。学校でも更に指導を進めてまいりますので、ぜひ、ご家庭・地域でもご指導・ご協力をお願いいたします。



2年生の窓「楽しかった 音楽会♪」

2年担任 尾間 宏美 中嶋 亜侑美

11月2日・3日の音楽会での頑張ったことや気付いたことを振り返りました。少しですが、ご紹介します。

- ★歌の時にきれいな声で歌うことに気をつけながら歌いました。せりふも後ろのお客さんまでとどけられるように大きな声で言いました。
- ★お客さんがたくさんいたことにびっくりしました。ドキドキしたけれどはやくならないように気をつけながらきれいな声で歌を歌うことができました。先生たちに500点をもらえてうれしかったです。
- ★歌では、白馬とスーホの気持ちを考えながらきれいな声で歌うことができました。合そうでは、キーボードを1回もまちがえずにひくことができました。ほかの楽きの音を聞きながらリズムがずれないようにひくことができました。
- ★お客さんに聞き取れるように、ゆっくりはっきり言うように気をつけました。
- ★歌では、3曲とも音の強さがそれぞれちがったけれど気持ちを「ぱっ」と切りかえて歌うことができました。すずの回数をまちがえずに鳴らすことができました。さいこうの音楽会になったと思います。
- ★歌では3番の「かなしくて くやしくて」をとくにきれいに歌いました。おうちの人たちが見に来てくれてとてもきんちょうしたけれどがんばりました。大せいこうに終わってうれしかったです。
- ★歌では、音をのぼすところはしっかりとのぼして歌うことができました。合そうのけんばんハーモニカでは、ちょっとだけ、いそいでしまったけれど一生けんめいにえんそうしました。大せいこうしてうれしかったです。
- ★ステージの上に立つとすごくきんちょうしたけれど、せりふを大きな声で言えました。合そうでは、とちゅうでいきがくるしくなりそうだったけれど、さいごまでしっかりとけんばんハーモニカをふくことができてうれしかったです。
- ★せりふは言葉のまとまりに気をつけて大きな声で言うことができました。合そうでは、みんなとタイミングを合わせてえんそうすることができました。4年生になった時は、さらに言葉をはっきりとつたえられるようにしたいです。
- ★合そうでは、それぞれの音がずれないようにえんそうすることができました。学年が一つにまとまったように感じました。

